

ブレイクアウトをカスタムする魅力とは!?

かっこよさと
乗りやすさの

最高のバランスが
実現する

ブレイクアウト用のパーツを数多くリリースする「トライジャ」は、カスタム派のオーナーにとって絶対に見逃せないメーカーだ。そこで、ブレイクアウトのカスタムにまつわるあれこれを聞いてみた。

text/T Anemija 監修 photo/T Tsurumi 鶴身健
問い合わせ先/Anemija TEL:072-970-3110 <https://nijya.com/>

いかに乗りやすくなるかで
カスタムに差がつく

トライジャがリリースするブレイクアウト用のカスタムパーツ群は、カスタムショップ時代に数多くワイドタイヤのソフテイルを製作し、鍛え上げてきた、いわば伝家の宝刀といえるもの。ワイドタイヤをカッコよく、そして乗りやすくするためのノウハウが詰まっているのだ。

「FXWC ロッカーC」ってあったでしょう、ブレイクアウトが登場する以前の太いリアタイヤのソフテイルのだけど、ウチはロッカーCをカスタムしてほしいというオーダーが多かった。そ

して当時目指していたのが、まさにブレイクアウトのようなスタイルだったんです」

いわくブレイクアウトはほぼ完成形で、ロッカーCをカスタムし、試行錯誤して生み出した独自のセオリーがブレイクアウトのパーツ開発にも役立っているという。それを如実に物語っているのがフロントフォークを5度レイクさせるトリプルツリーだ。現行モデルはノーマル状態でフロントフォークが立っている印象があるが、これを少し寝かせることで取り回しやすくなり、ロー&ロングも強調され、よりスタイリッシュな印象になる。

「ブレイクアウトは、ロッカーCと違ってそのままでも十分完成しているけれど、オーナーさんによってスタイルを重視したいのか、乗りやすさ重視したいのか違う。だからかっこよくて、乗り味もよくなるような、バランスのとれたパーツを販売しています」

乗り味とカッコよさの両立が、ブレイクアウトをイジる醍醐味だ。



岡本佳之さん

カスタムショップ時代は一世を風靡したアレンスやユーロスタイルを昇華させた個人的なカスタムで人気に。現在はカスタムパーツメーカーとして展開するトライジャのボス

ロッカーCから

採用し続ける「かっこいい」のセオリー



トリプルツリーやハンドルなどオリジナルパーツを数多く装着。ヘッドライトも交換しているため、一見するとツインカム時代のブレイクアウトのように見えるが、これこそがロッカーC時代に目指した完成形そのもの



一見ノーマル風だが、360サイズという鬼太リアタイヤに換装。違和感なく取り付けられているのは、純正のリアフェンダーをベースに、切って広げてつなげるなど、手間をかけて自然に見えるよう作り込んでいるからだ



10年ほど前、スーパーチャージャー仕様のフルカスタムを数多く手がけていただけに、発売されて間もないCVOのブレイクアウトにスーパーチャージャーを装着。ハンドルなど現在に通じるパーツも見受けられる

乗りやすさにこだわった

専用パーツ



トリプルツリー 純正ヘッドライト用 5°レイク

19万3600円

ノーマルと比較してフロントフォークが5度レイクするため、車体が低くなりブレイクアウトらしいロー&ロングスタイルを実現。コントロール性も向上する

レイクしたフロントフォークやライダー側に引かれたハンドル、超ショートなフェンダーなど、スタイル重視のカスタムにも見えるが、実際には非常に乗りやすく仕上げられている



H-D純正 フォークアウターチューブ

14万3000円

2018年以降のモデルはフロントフォークが黒塗装仕上げ。純正クロム仕様は絶版だが、トライジャでは数に限りがあるがデッドストック品あり



ショートリアフェンダー用 サドルバッグサポート

3万3000円

取り付け用の穴などの位置がノーマルと異なるショートリアフェンダーには通常のサドルバッグサポートが装着できない。そのため専用部品が必要だ



ショートリアフェンダー用 サドルバッグサポート&キャリア

6万5000円

トライジャオリジナルのショートリアフェンダー用に開発されたサドルバッグサポートとキャリアのセット。それぞれ単独で装着可能なので、使い方に応じて組み合わせて取り付けできる



ショートリア フェンダー

24万7500円~

ブレイクアウトの極太タイヤを強調できるショートタイプのリアフェンダー。シート後ろのクロムカバーがアクセント。作りよさは一級品



センターナンバー

7万1100円

ワイドタイヤに似合うセンターナンバーキットで、リアをスッキリさせたいときに有効。ナンバー灯が付属するほか小型ウインカーの取り付けも可能

般若バー (1-1/4"ライザー用)

9万9000円

横から見たときの、フロントフォークの延長線上から弓なりに反りがえった形状はまさに般若!! 約10cmブルバックさせたことで、乗りやすさも実現している



ブルバック ハンドル

価格未定

トップブリッジに直接装着するナローなシルエットのブルバックハンドル。スッキリした見た目を実現するうえ、グリップ位置が手前にくるので操作もしやすい



ショートリアフェンダー用 ソロシート ダイヤモンドステッチ

8万4800円

前方をスリムにして足つき性をよく、さらに着座位置を前方にしたことでライディングポジションも改善する。もちろん見た目にもこだわっている





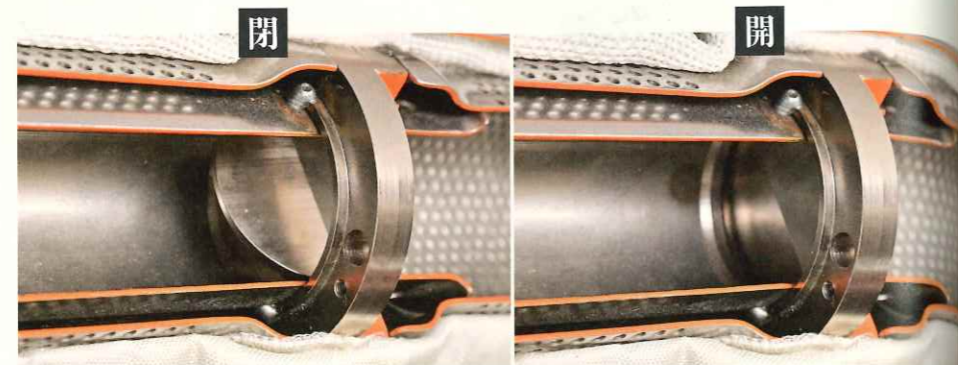
ボタン操作で音量が変化
音量調整は走行中いつでもボタン操作で可能。弁が全閉状態のドクタージキルモード、半開のダイナミックモード、全開のミスターハイドモードの3段階に切り替えできる



独自のバルブ開閉ユニット
サイレンサーにはモーターが取り付けられており、これが可変弁を開閉させる役割を果たす。モーターやケーブルなどのパーツも4年保証の対象となっている

特徴1 音量の変更が可能

サイレンサーの内部に電子制御の可変弁が備わっており、弁が全閉、半開、全開の3段階に開閉することによってサウンドが変化する。この可変弁の開閉は走行中でも操作することが可能で、近所迷惑になってしまうような場所では音量を下げ、走行中はダイナミックな排気音を楽しむことが可能となる



規制に対応する内部構造
ジキル&ハイドマフラーのカットモデル。中央にあるのが可変弁。その右側のスペースには欧州の厳しい排ガス規制に対応する触媒が内蔵される

欧州の音量規格であるEマーク取得
プレートの「E13」とあるのがいわゆる「Eマーク」。これは欧州での製品規格なのだが、マフラーに関しては近接騒音、加速騒音の基準に合格しているという証となる



ジキル&ハイドマフラーの大きな利点のひとつが、合法的に交換することができる。年々厳しくなっている排ガス規制や音量規制の決められた条件の範囲内でマフラーを製作しているため、欧州でも日本でも合法的に交換することができる。それでいて、ハーレーらしさも損なわない画期的なマフラーなのだ

特徴2

合法的に使える

世界基準の規制をクリアしているから安心して



JMCAの認証も取得
日本国内で合法的に使用するにはJMCA（全国二輪車用品連合会）の認証が必要。日本に輸入されるジキル&ハイドマフラーにはJMCAの試験を受け、合格した証であるプレートが付く

Q 合法ってどういうこと?

ノーマルの車両についているマフラーは、メーカーが規制の範囲内で製作したもの。ジキル&ハイドマフラーのように交換用のマフラーの場合、一律で設定されている排ガスの成分の計測試験、モデルごとに設定されている騒音量の計測等のテストを行い、合格することで合法マフラーとして認証される



フレームに記載されている近接騒音の計測条件。こちらはニュートラルで2510回転の時に93dB以内である必要があるという意味。その下が加速騒音の値だ



ジキル&ハイドマフラーは特定回転数の法定制限音量を超える手前で弁が閉じ、音量を下げるように自動で調整するプログラムが設定されている

Q 最近よく聞く「ユーロ5」とか「ユーロ6」ってなんのこと?

ヨーロッパで施行された排ガス規制のこと。排ガス内の成分が決められた値になっていないと販売ができないという仕組みだ。さらに来年4月から欧州ではユーロ5+Aに移行。排ガスの測定方法が厳しくなる。さらにその後ユーロ5+B、ユーロ6へとより厳しい規制が採用されていく予定。ジキル&ハイドマフラーはこれらの規制に対応する生産ラインを確立している

お悩み解決!

TRIJYAのモノ造り道場

大阪府柏原市にショールームを構えるトライジャは、独自のカスタムのほか、カスタムパーツの開発にも力を入れている



TRIJYA HP



YouTube



instagram



Facebook

トライジャが日本の輸入総代理店を務める「Drジキル&Mrハイドマフラー」。

ここ数年で日本でのシェアが一気に高まったこのマフラーがなぜ合法的に使えるのか、どんな特徴があるのかに迫っていく。

text&photo/T.Numao 沼尾哲平
問い合わせ/トライジャ TEL072-970-3110 <https://trijya.com/>

今回のお題

世界中で人気爆上がり中のエキゾースト

オランダの技術とドイツのデザインで作られた、世界シェアNO.1の電子制御マフラー。世界40カ国で販売され、年間売上2万本を誇る

未来を見据えたプロダクツ
ジキル&ハイドマフラーに迫る

ハーレーのほとんどの車種で合法的に取り付けられますよ!



ジキル&ハイドマフラーの自動見積もりサイトはこちら



安心の品質の合法マフラー!

トライジャはドイツのマフラーメーカー「Drジキル&Mrハイドマフラー」の日本総代理店だ。ここ数年で同マフラーは認知度を高めているが、このように広く知られることとなった理由は、音量可変であることが大きいだろう。もちろん、音量を自由に換えられて楽しいという要素もあるが、実は可変機能は現代の環境でバイクを楽しむために必要な要素だといえるのだ。その理由をトライジャ・ボス、岡本さんに聞いた。

「環境を守るといって観点から、世界的にバイクの排気に関する規制が厳しくなっています。その真つただ中にあるジキル&ハイドマフラーは、こうした規制を守りつつ、バイクならではの楽しみを損なわないように工夫を重ねています。近所迷惑にならないように音量を小さくできるという一面もありますが、実は音量可変である理由のひとつが、触媒等の経年劣化によって音量が大きくなってしまった場合に自動で音量を調整するという意味もあるんです。規制を守りつつ信頼のおけるモノ造りをしていくというわけです。」

これから世界的に規制はより厳しくなります。でもそうした規制にもしっかりと対応できるように検査施設を自社内にもつなど、企業努力がすごい。まさに未来を見据えたマフラーなんです!